

2学期末学校評価結果から

保護者の皆様、多くのご意見ご回答ありがとうございました。

		2学期	1学期
子どもは、学校は楽しいと言っていますか。	☆	94.5	90.0
子どもは、進んで挨拶ができていますか。		79.1	76.7
子どもは、学校のことについてお家で話をしますか。		86.8	86.7
子どもは、学習内容がよくわかり、基礎的な学力が身についていますか。		89.0	88.9
学校は、思いやりの心や優しい心が育つように指導していますか。		93.4	93.3
学校は、どんな学校にするのか、どんな子どもに育てるのかという方針を明確にしていますか。	▼	91.2	94.4
学校は、便り等で日々の教育活動を、保護者や地域にわかりやすく伝えていきますか。	☆	100.0	91.1
学校は、子どもの能力や努力を適切に評価していますか。		94.5	93.3
教職員は、熱意を持って教育活動を進めていますか。		95.6	93.3
いじめなどの問題を心配せず、子どもを学校に通わせることができますか。	☆	83.5	77.8
学校は、子どものことについて気軽に相談に応じ、適切に対応していますか。		92.3	91.1
学校は、行事（運動会、学習参観等）に積極的に参加できるように工夫していますか。	☆	95.6	92.2
学校は、子どもや地域の実態を踏まえた、特色ある教育活動を進めていますか。		97.8	96.7
学校の教育環境は、美しく整理・整頓されていますか。		97.8	97.8
学校は、安全面での配慮ができていますか。		92.3	92.2
全学年で英語科の学習を進めていますが、英語に慣れ親しむ子どもたちの姿はうかがえましたか。	☆	86.8	68.9

2学期末に保護者の皆様にご協力いただきました「学校評価」についてお知らせいたします。表の数値は、【◎そう思う(あてはまる)】【ややそう思う(ややあてはまる)】という肯定的なご回答をいただいた割合を表しました。

ほとんどの項目で90%以上の評価をいただき、多くの項目で上昇がみられました。

しかし、挨拶に関わっては、わずかながら上昇が見られましたがまだ80%に届いていません。挨拶はコミュニケーションの第一歩ととらえ、継続して子どもたちへ働きかけていきます。ご家庭、地域でも、積極的に大人から声かけをお願いいたします。また、「いじめなどの心配をせず、子どもを学校に通わせることができますか。」に関わっても上昇は見られたものの子どもの人間的関係に大変心配されていることを感じています。早期発見、早期解決するためにも教職員がアンテナを高くし、児童の様子把握に努めていきます。保護者の皆様も心配事がありましたら担任や教育相談担当にご相談ください。学校の教育方針等の周知に関わっては、ホームページや学校便り、学級通信等でお伝えしていく機会を設定していきたいと思っております。

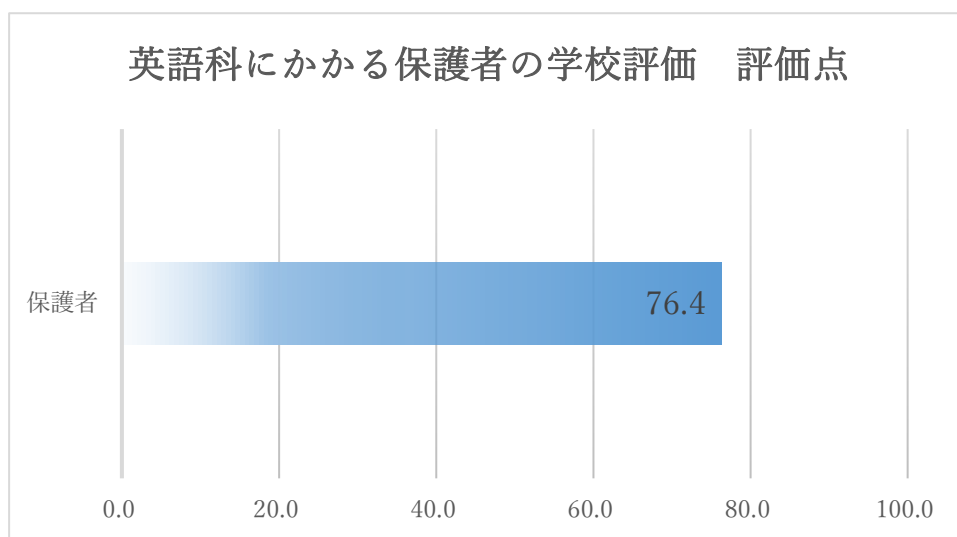
いただいたご意見や評価は、全職員でしっかりと受け止め、改善できる点については改善し、教育活動に活かしていきたいと思っております。共によりよい伊吹小学校が築けますよう今後ともご協力をお願いいたします。

英語科にかかる学校評価

【保護者による評価】

《質問項目》

- ◆ 全学年で英語科の学習を進めていますが、英語に慣れ親しむ子どもたちの姿はうかがえましたか。



☆ 評価点は、【そう思う】を100点、【どちらかといえばそう思う】を75点、【どちらかといえばそうは思わない】を25点、【そうは思わない】を0点とし、独自に設定したものである。

評価点は76点をいただきました。まずまずといったところでしょうか。しかし、保護者の皆さんの関心も高く各学年からご意見もいただきました。

・英語の自信がないと言っていましたが、今では楽しいと言って家で自主学習をするようになりました。

・英語科の学習で、カードを取って単語を覚える取組はとても楽しんでいたのでこれからも楽しみながらできる学習方法を取り入れてもらえたらと思う。

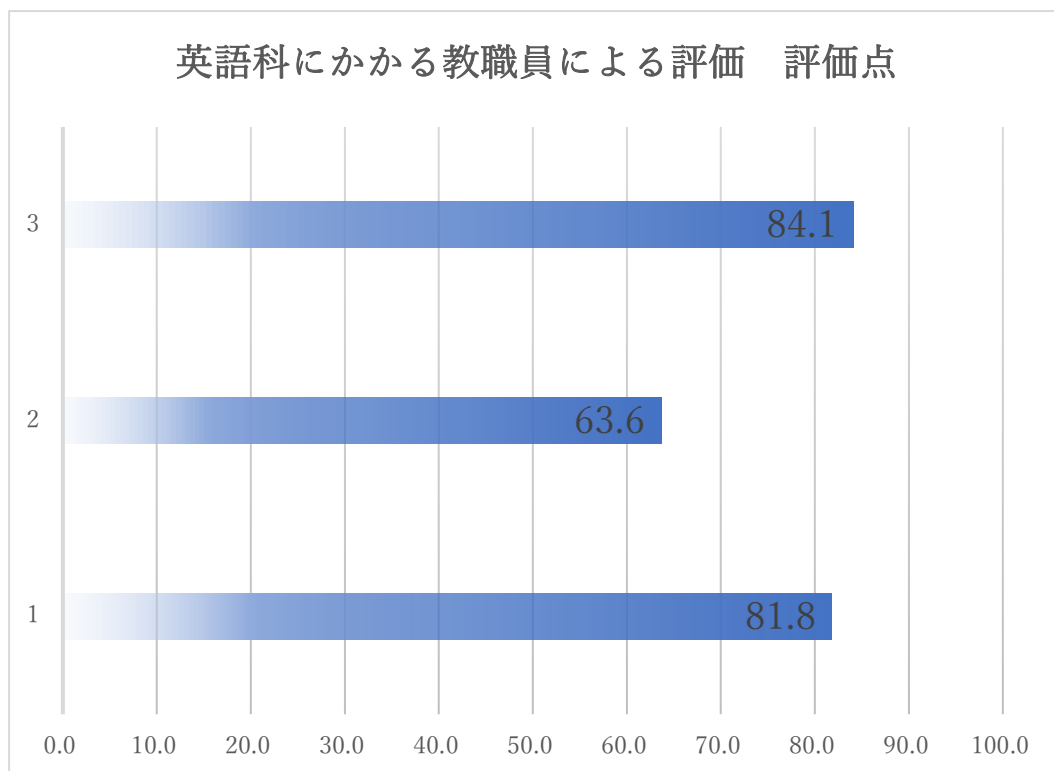
など、ご意見をいただきました。

これからも楽しく英語の学習ができるよう努めてまいります。

【教職員による評価】

《質問項目》

- 1：児童が楽しく取り組み、工夫ある展開をしている。
- 2：モジュール学習の取り組みを計画的、発展的に行っている。
- 3：英語指導助手と連携して、前向きに英語の学習に取り組んでいる。



☆ 評価点は、【そう思う】を100点、【どちらかといえばそう思う】を75点、【どちらかといえばそうは思わない】を25点、【そうは思わない】を0点とし、独自に設定したものである。

【1：児童が楽しく取り組み、工夫ある展開をしている】評価点 81.8

【2：モジュール学習の取り組みを計画的、発展的に行っている】評価点 63.6

【3：英語指導助手と連携して、前向きに英語の学習に取り組んでいる】評価点 84.1

という自己評価になった。1と3の項目では高い評価をしているが、2の評価は課題がありそうである。これは、学習内容と指導者の英語力の課題ともとれる。

今後も、教職員の指導力の向上と子どもたちが楽しく学べる教材の発掘、そしてICT機器を活用しながらより楽しく英語が学べるよう授業づくりに努めていきたい。